

令和5年10月27日
四国電力送配電株式会社

電カスマートメーターを活用した水道遠隔検針に係る 神山町との共同実証試験の開始について

当社は、電カスマートメーターシステムを活用した「IoT向け通信回線サービス」を2021年4月より開始しており、本サービスを活用した取り組みとして、水道遠隔検針への適用について検討を進めてまいりました。

(2020年4月6日お知らせ済)

同サービスを活用した取り組みとして、神山町と共同で、水道遠隔検針に係る実証試験を本年11月から開始しますので、お知らせいたします。

本取組は、将来の検針員不足に対する課題解決を目的に、水道メーターの指針値や漏水等のアラーム情報の遠隔取得に関する実証を行うものであり、山間部・僻地等の検針業務に時間を要している箇所を対象に遠隔検針の導入効果を検証するほか、早期漏水発見などのお客さまサービスの向上に資する検討を実施してまいります。

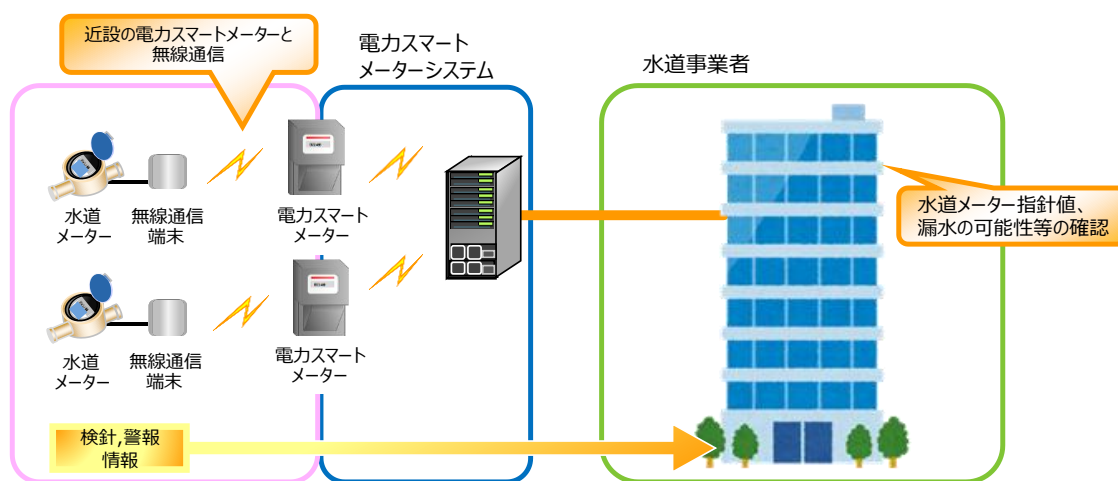
両者は、これらを通じて遠隔検針における新たな課題を確認・整理するとともに、遠隔検針により取得したデータを活用した見守りなどの新たなサービスについても、検討を行ってまいります。

以上

<参考①> 実証試験の概要

実施事業者	神山町および四国電力送配電株式会社
実証場所	神山町 (徳島県名西郡)
実証対象	水道メーター 1か所
実証開始時期	令和5年11月
実証内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地水道メーターの指針値と遠隔取得した指針値の整合性確認 ・ 漏水等のアラーム情報の遠隔取得 ・ 遠隔検針における新たな課題の確認、整理 ・ 水道使用量の見える化など、利用者のサービス向上に資する検討 (遠隔取得情報の利活用に係る検討)

<参考②> サービス概念図



【サービス導入で得られる効果】

